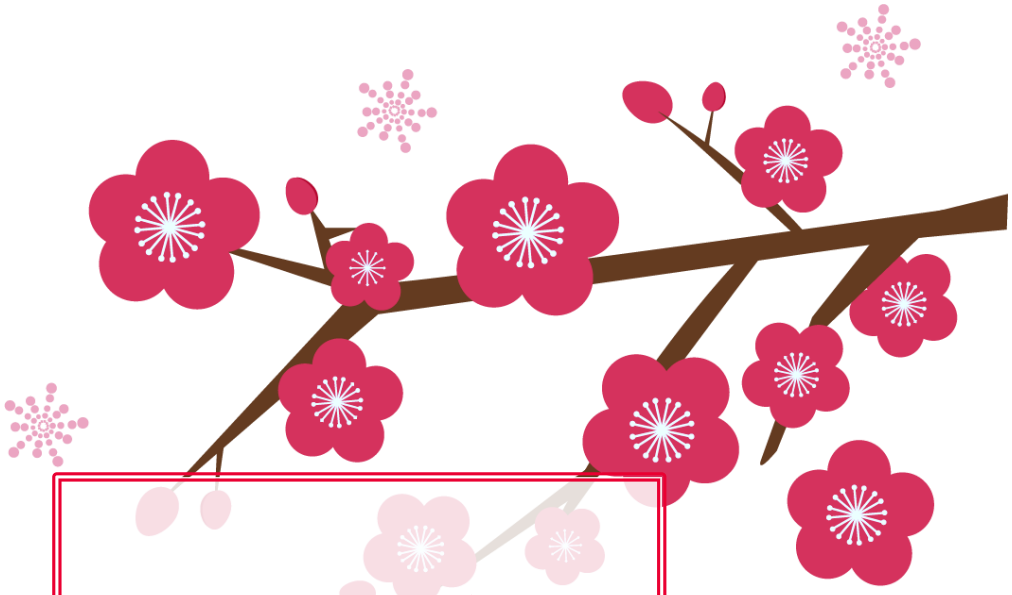

令和の都だざいふ

「梅」プロジェクト

中 期 事 業 計 画

令和６年３月

福岡県太宰府市

目次

プロローグ……1
令和の都だざいふ「梅」プロジェクト中期事業計画について……2
1. 令和の都だざいふ「梅」プロジェクトについて……2
2. プロジェクトの目指すところ……2
3. 中期事業計画策定の目的……3
4. 計画期間……3
5. 上位関連計画の整理……4
太宰府市産の梅及び梅プロジェクトの現状……8
1. 公有地にある梅の木の状況……8
2. 梅の収穫量……10
3. 農業就業の状況……11
4. 市内農家の参画意向等……12
5. 梅プロジェクトのこれまでの取組み……14
6. 梅プロジェクトによる製品開発数……17
7. 梅プロジェクトの状況……20
現状と課題の整理……22
梅プロジェクトが目指す将来像……23
1. 梅プロジェクト推進の方向性……23
2. 将来像……23
梅プロジェクトの具体的戦略……24
1. 戦略の目標……24
2. KGI・KPIの設定……26
3. 戦略体系図……27
4. 具体的戦略……29
5. 重点プロジェクト……36

計画の推進 37
1. 推進体制 37
2. 戦略の進め方 38
梅を活かしたまちづくりへの展開 39

プロローグ

令和の都として知られる私たちのまち、だざいふ。

元号令和の由縁となった梅花の宴を催した大伴旅人公、太宰府天満宮の御祭神菅原道真公も生涯にわたって梅を愛したことなど、太宰府と梅の縁は非常に深いものとなっています。

本市では、令和３年国の規制緩和を勝ち取ったことを機に史跡地等の梅を活用し新製品の開発を推進する『令和発祥の都太宰府「梅」プロジェクト』を立ち上げ、これまで多くの事業者・教育機関等と連携を進めながらグルメやスイーツ等を生み出してきました。

この度、令和の都だざいふ「梅」プロジェクト中期事業計画を策定するにあたって、これまでの取り組みを振り返るとともに、これから将来に向けて本プロジェクトが目指す方向性について検討を重ねました。

古より我が国の政治、行政、外交、防衛の要衝であった日本の西、筑紫の地に栄えた「西の都」は、国内外の文化人・知識人が集い、交流する中で先進文化も蓄積してきました。「西の都」は、東アジアの先進文化と日本の文化とが行き交う国際交流都市でした。

本計画では、「西の都」から息づく文化や人と人との結びつきにより発展を促してきた精神性に倣い、市内外の人々の知識や行動力の集結によって、梅資源を核とした産業の創出だけでなく、住まう人訪れる人も愉しむことができる『真の梅のまち』の創出を本プロジェクトの将来像とし、太宰府の梅を更にブランディングし地場みやげ産業として振興することで本市の経済税収効果の飛躍的向上を目指していきます。

令和６年３月

太宰府市長　楠田大蔵